

スマートライセンス設定を使用した"SIA猶予期間期限切れ"；アラームの解決

内容

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[問題の説明](#)

[影響](#)

[トラブルシューティングの手順](#)

[結論](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、「SW Upgrade will be blocked as SIA Grace Period has expired」アラームが原因でソフトウェアアップグレードがブロックされるCisco NCS1Kデバイスで発生する一般的な問題について説明します。

背景説明

このドキュメントでは、Software Innovation Access(SIA)コンプライアンスを回復してシステムアップグレードを成功させるためのトラブルシューティング手順、解決策、およびベストプラクティスについて説明します。

問題の説明

NCS1Kデバイスをアップグレードしようとする、SIA Grace Periodの期限が切れていることを示すアラームが発生する可能性があります。このアラームによってアップグレード操作が妨げられ、ソフトウェアのアップグレードが事実上ブロックされます。システムは、デバイスがSIAのコンプライアンス違反であると90日以上延長して報告します。

SIAのコンプライアンス違反は、ソフトウェアアップグレードをブロックするだけであり、システムの機能には影響しません。

影響

この問題の影響として、該当するNCS1Kデバイスでソフトウェアアップグレードを実行できません。

トラブルシューティングの手順

初期調査とトラブルシューティングでは、アップグレード方式の検証とライセンスのコンプライアンスステータスの診断に重点が置かれました。

1. アップグレード手順の確認：お客様がシスコの文書化されたサポート対象のソフトウェアアップグレード手順を使用していることを提供および確認します。NCS1014ソフトウェアセットアップガイドについては、『[セットアップおよびソフトウェアインストールガイド](#)』を参照してください。
2. アクティブアラームの確認：アクティブアラームの下に「SW Upgrade will be blocked as SIA Grace Period has expired」を確認します。アクティブアラームを表示するには、telnet/sshでノードに接続し、コマンドshow alarms brief system activeを実行する必要があります。

<#root>

RP/0/RP0/CPU0:Node-A#

show alarms b s a

Mon Aug 11 09:31:02.861 UTC

Active Alarms

Location	Severity	Group	Set Time	Description
----------	----------	-------	----------	-------------

0/RP0/CPU0	Major	Software	03/09/2025 01:55:55 UTC	
------------	-------	----------	-------------------------	--

SW Upgrade will be blocked as SIA Grace Period has expired

3. ライセンスステータスの確認：現在のコンプライアンス状況を確認し、特定のライセンスの問題を特定するために、show license platform detailを確認しました。

<#root>

RP/0/RP0/CPU0:Node-A#

show license platform detail

Thu Aug 14 04:28:57.161 UTC

Collection: LAST: Thu Aug 14 2025 03:55:56 UTC

NEXT: Thu Aug 14 2025 04:55:56 UTC

Reporting: LAST: Thu Aug 14 2025 01:55:57 UTC

NEXT: Fri Aug 15 2025 01:55:57 UTC

IMPORTANT**

SIA Status: Out of Compliance(Grace Period Expired)

RUM ACK is not received for more than 90 days.

SW Upgrades are blocked as Grace Period is expired

4. 同期が実行されない原因を確認するには、ノードのスマートライセンス設定をさらに確認する必要があります。(ライセンスを最初から設定していない場合は、ステップ6に進みます)。
5. Smart Licensingを設定する場合：

ステップA：スマートライセンスサーバのドメインネームサーバを設定します。

例：

RP/0/RP0/CPU0:ios#configure

±12月15 15:25:14.385 IST

RP/0/RP0/CPU0:ios(config)#domain name-server 192.0.2.247

手順B：次のコマンドを使用して、CiscoTAC-1プロファイルと宛先アドレスをSmart Call Home用にセットアップします。

call-home

サービスアクティブ

スマートライセンスに連絡する

プロファイルCiscoTAC-1

active

宛先アドレスhttp {http|https}://{FQDN}/its/service/oddce/services/DDCEService

宛先トランスポート方式HTTP

例：

RP/0/RP0/CPU0:ios#domain name-server 192.0.2.247

RP/0/RP0/CPU0:ios#call-home

RP/0/RP0/CPU0:ios#service active

RP/0/RP0/CPU0:ios#contact smart-licensing

RP/0/RP0/CPU0:ios#profile CiscoTAC-1

RP/0/RP0/CPU0:ios#active

RP/0/RP0/CPU0:ios#destination address http

<https://tools.cisco.com/its/service/oddce/services/DDCEService>

RP/0/RP0/CPU0:ios#destination transport-method http

ステップC : 証明書失効リスト(CRL)分散ポイントがサテライトサーバ証明書に定義されていない場合、またはデバイスがCRL分散ポイントに記載されているホストに到達できない場合は、暗号ca信頼ポイントプロファイルを設定します。

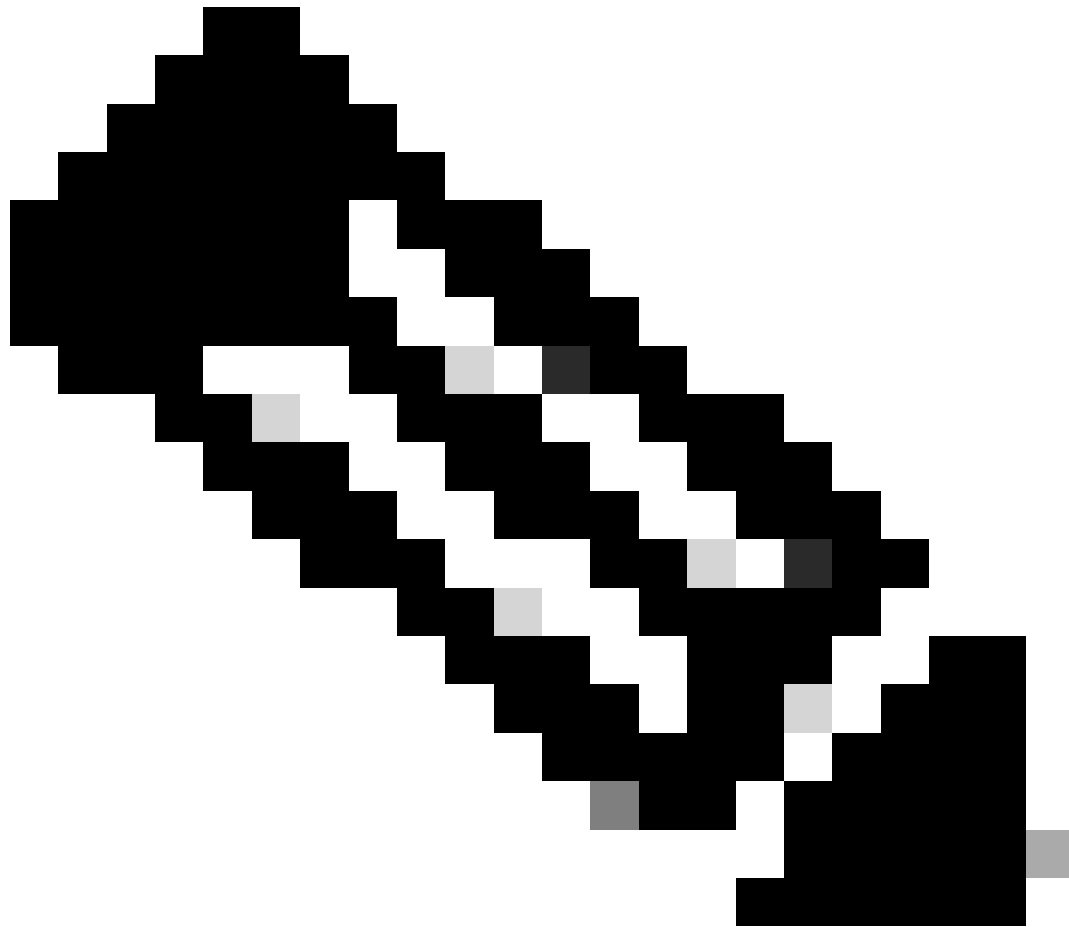
例 :

RP/0/RP0/CPU0:ios(config)#crypto ca trustpoint Trustpool CRLオプション

ステップD: Cisco Smart Software Managerを使用して、登録トークンIDを作成およびコピーします。

手順E 特権EXECモードで、次のコマンドを使用してCisco Network Control System(NCS)1014にトークンIDを登録します。

license smart register idtoken トークンID



注: CiscoTAC-1プロファイルは、スマートライセンスのデフォルトプロファイルであり、削除しないでください。

ステップF: Smart Licensing Transportモード : 24.1.1リリースのデフォルトのトランスポートモードはCisco Smart License Utility(CSLU)ですが、Call Home、Smart Transport、またはOfflineモードに変更できます。次の転送モードを選択できます。

-> CSLU

->オートコール

->スマート

->オフライン

ステップG : トランスポートモードの設定

CSLU: CSLUはデフォルトのライセンストランスポートモードです。この設定を使用して

、通信トランスポートモードをCSLUに設定します。

例：

設定

smart transport csluのライセンス

ライセンススマートurl cslu <http://cslu-local:8182/cslu/v1/pi>

commit

Call-Home:Call-Homeトランスポートモードを使用するには、次の設定を使用します。

例：

設定

smart transport callhomeのライセンス

callhome

サービスアクティブ

contact-email-addr username@example.comを使用します。

プロファイルCiscoTAC-1

宛先トランスポート方式HTTP

Router(config-call-home-profile)#宛先アドレスhttp

<https://tools.cisco.com/its/service/oddce/services/DDCEService>

active

no destination transport-method email (宛先トランスポート方式の電子メールなし)

commit

スマートトランスポート：スマートトランスポート通信モードを使用するには、次の設定を使用します。

例：

設定

smart transportスマートのライセンス

スマートトランスポートurlのライセンス

[:https://smartreceiver.cisco.com/licservice/license](https://smartreceiver.cisco.com/licservice/license)

commit

オフライン：オフライン通信モードを使用するには、スマートトランスポートをオフにする必要があります。スマートトランスポートをオフにするには、次の設定を使用します。

例：

設定

ライセンススマートトランスポートのオフ

commit

6. 実行コンフィギュレーションが検証され、ノードにCall Homeコンフィギュレーションが設定されているが、トランスポートモードが欠落していることが判明しました。

call-home

サービスアクティブ

http-proxy x.x.x.xポート3128

プロファイルCiscoTAC-1

active

destination transport-method emailの無効化

宛先トランスポート方式HTTP

！

7. さらに、ライセンスのステータス出力とトランスポートが「Off」と表示されていることを確認します。

RP/0/RP0/CPU0:Node-A#show license status

8月14日 (木) 04:27:52.330 UTC

ユーティリティ：

ステータス：無効

ポリシーを使用したスマートライセンシング:

ステータス：ENABLED

アカウント情報：

スマートアカウント：<none>

仮想アカウント：<none>

データプライバシー：

送信ホスト名：はい

Callhomeホスト名のプライバシー：DISABLED

スマートライセンスのホスト名のプライバシー：無効

バージョンプライバシー：無効

トランスポート：

タイプ：トランスポートオフ

8. すでにCall Homeの設定が完了しているため、次のコマンドを使用してトランスポートモードをCall Homeに変更するだけです。

設定

smart transport callhomeのライセンス

show license statusを実行して、設定を確認できます。

<#root>

RP/0/RP0/CPU0:Node-A#show license status

Thu Aug 14 04:27:52.330 UTC

Utility:

Status: DISABLED

Smart Licensing Using Policy:

Status: ENABLED

Account Information:

Smart Account: <none>

Virtual Account: <none>

Data Privacy:

Sending Hostname: yes

Callhome hostname privacy: DISABLED

Smart Licensing hostname privacy: DISABLED

Version privacy: DISABLED

Transport:

Type: Callhome

9. ノードを登録し、そのライセンスが正常に同期された後、ステップ5 Dおよび5 Eが再度実行されました。

結論

「SIA Grace Period has expired」アラームを解決し、Cisco NCS1014デバイスでソフトウェアアップグレードを有効にするには、スマートライセンスの設定と検証を体系的に行う必要があります。ライセンスのスマートトランスポート設定が正しいこと、有効なトークンを使用してCSSMにノードを適切に登録すること、およびその後のライセンスの同期が重要です。場合によっては、システムの同期を完了するために、強制ライセンス登録またはコントローラのリロードが必要になることがあります。SIAコンプライアンスが回復したら、問題なくソフトウェアアップグレードプロセスを続行できます。

関連情報

- [NCS1014用スマートライセンス](#)
- [NCS1014のインストールガイド](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。